



神戸アドベンチスト病院での学外実習



神戸アドベンチスト病院は、「**キリストの愛と確かな医療をもって心と体のいやしをめざします**」の理念の下に、単に身体の治療だけではなく、人間全体の癒しを目指した支援を行っています。

そして、急性期病院としての一般病棟、産婦人科などと幅広い医療機関が設置された病院ですが、今回はその中でも、**病気の根治的な治療を行うのではなく、患者さんやご家族の精神的な不安を取り除く支援を行うホスピス病棟**についてのお話を伺いました。



実習指導者の先生のお話

山形謙二先生のご講義では、緩和ケアの理念や重要性などについて伺えました。**健康の回復ではなく、生きる意味や希望を見つける事を目的とした支援**である事を学び、**最後まで患者さんが自分らしい生活を送れるように気遣い、配慮するケアの重要性**を感じました。

また、心理師の三浦恵先生には、患者さんとの関わり方についてのお話を実際に伺う事で、**心理職は人として自身として問われる職業**である事を学び、心理職のあり方について改めて考える事が出来ました。



ディグニティ・セラピーと施設見学について



自分の人生を振り返り、思いを言葉で残すディグニティ・セラピーについて吉田先生からご講義いただき、**人生の意味の再発見や再構築**を行う事が出来ると学びました。また、死と向き合う際に「何を考え、どの様な思い伝えたいのだろうか。」と自身がその立場になった視点で、様々に考える事も出来ました。

ホスピス病棟の見学では患者様とご家族が穏やかな時間を過ごせるように、料理が出来るキッチンや宿泊用の家族室が用意されていました。鍋を囲みながら話をする事なども可能で、家族と過ごす大切な時間や思い出を作る事が出来るそうです。**ご家族の皆様と力を合わせて患者様のケアに寄り添い、過ごしやすい環境を作る事を大切にしていると感じました。**

編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました山形謙二先生、森明未先生、吉田浩行先生、三浦恵先生、神戸アドベンチスト病院の皆さま、心より感謝申し上げます。

作成：光岡 写真撮影：野村